

## 議論の観点（案）

- AI・ビッグデータ・IoT等の技術革新や、少子化・人口減少、グローバル化等の社会の変化がより一層進展するとともに、子供たちの多様化・教育課題の複雑化が進む中、これらの変革と学校教育との関係をどう捉えるべきか。
- 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」（令和3年1月26日）で示された「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」の実現、それを担う教師及び教職員集団のあるべき姿の実現に向けて、新しい時代の教育をどのように見通すか。また、高度専門職としての教師の役割、教師不足の状況等を踏まえ、教師・教職員集団の現状についてどのように考えるか。
- 「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について（答申）」（令和4年12月19日）においては、教師の育成・確保に関する各種方策が示され、現在取組が進んでいるが、その改革の方向性についてどのように考えるか。さらに踏み込んだ改革が必要か。
- 「『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」（令和6年8月27日）において、学校における働き方改革や指導・運営体制の充実、教師の処遇改善などの方策が示されたことを踏まえ、質の高い教師の確保に向けて、環境整備に加え、取り組むべき改革についてどのように考えるか。
- 改めて教師が本来担うべき役割、教師に求められる資質・能力をどう考えるか。今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する論点が整理される中、教職課程の内容や学修方法等の在り方についてどのように考えるか。